

教科目標

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

1学期 主な学習内容（48時間）	2学期 主な学習内容（50時間）	3学期 主な学習内容（42時間）
【物質】 化学変化とイオン ①水溶液とイオン（10時間） ②電池とイオン（10時間） ③酸・アルカリと塩（10時間） 【生命】 生命の連続性 ①生物のふえ方と成長（8時間） ②遺伝の規則性と遺伝子（6時間） ③生物の種類の多様性と進化（4時間）	【エネルギー】 運動とエネルギー ①力の合成と分解（7時間） ②物体の運動（10時間） ③仕事とエネルギー（8時間） ④多様なエネルギーとその移り変わり（3時間） ⑤エネルギー資源とその利用（4時間） 【地球】 宇宙を観る ①地球から宇宙へ（5時間） ②太陽と恒星の動き（8時間） ③月と金星の動きと見え方（5時間）	【環境】 自然と人間 ①自然界のつり合い（5時間） ②さまざまな物質の利用と人間（5時間） ③科学技術の発展（3時間） ④人間と環境（8時間） ⑤持続可能な社会をめざして（4時間） 【3年間の復習】 17時間

評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。）

	評価の観点（1学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	細胞分裂の観察を適切に行い、分裂している細胞を探しだし、その特徴をスケッチなどで記録することができる。	[全教科共通] ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・ワークシート ・実験観察レポート ・小テスト ・単元テスト ・実技テスト	実験観察レポートは、原則として、A、B、Cで評価する。 A プレパラートの作成や顕微鏡の操作を適切に行い、スケッチの正しい方法を用いて、さまざまな時期の細胞分裂のようすやその特徴を記録している B プレパラートの作成や顕微鏡の操作を適切に行い、スケッチの正しい方法を用いて、細胞分裂のようすを記録している C スケッチが正しい方法で描けていない
II 思考・判断・表現	銅・マグネシウム・亜鉛について、イオンへのなりやすさを調べる実験を行い、結果を考察して金属のイオンへのなりやすさが異なることを見出して表現している。	[全教科共通] ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・ワークシート ・実験観察レポート ・小テスト ・単元テスト	実験観察レポートは、原則として、A、B、Cで評価する。 A 実験結果から、3種類の金属のイオンへのなりやすさが異なることを見出して、根拠をもってイオンへのなりやすきの順を比較して表現している B 実験結果から、3種類の金属のイオンへのなりやすさが異なることを見出して書き表している C 実験結果から、3種類の金属のイオンへのなりやすさが異なることについて書き表せていない
III 主体的に学習に取り組む態度	酸の水溶液とアルカリの水溶液を混ぜた時に出来る物質について、他者との対話を通してながら、実験レポートをつくることことができる。	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 【各教科の方法・資料】 ・ワークシート ・実験観察レポート ・小テスト ・単元テスト ・定期テスト	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 【各教科 独自の方法】 実験観察レポートは、原則として、A、B、Cで評価する。 A 結果や既存の知識を用いたり、他者の考えを取り入れたりしながら科学的に探究している B 結果を用いて科学的に探究している C 結果を用いて科学的に探究しようとする内容が不足している